

中日ニュース

シネスコ版

36.7.14

No. 391

カメラ・スケッチ

一、お化け探訪

お盆も間近になるとお化けがあちこちにお目見得する様になります。浅草には昔なつかしい「化猫芝居」がかかり、予想以上の入気を集めました。お芝居のストーリーは相も変わぬ現実ばなれのしたものですが、お化けの熱演に大入りのお客さんも満足のご様子。

お化け屋敷もなかなかの繁昌で殊にアベックには大受けです。

お化けもひるむ様なナイトぶりを發揮され、お化けの体面も保てません。お化けの出るのは人気のない所と決っていましたが最近では都心のキャバレーにも出没します。しかしこのお化け屋さんほろよい機嫌

のお客さんに仲々の好評、現代お化けの職場開拓といえるでしょう。だが人間衛星の飛ぶ時代にお化けの存在を確め様とするお化け研究家達がある夜お化けハンティングに出かけました。お化けの出たという最終バスに乗り込みあたりに万全の気を配りましたがとうとうお化けは出ず仕舞い。

それではどうわざを頼りに柳並木の探索へ、しかしこの夜はどうやらお化けの公休日とみえ、柳の下にも見当りませんでした。

スボーツ

一、悲劇の山村

大相撲名古屋場所

大相撲名古屋場所は、九日、大鵬対朝潮の結びの一戦で幕をとじました。この一戦は寄り倒して大関大鵬の勝ち。十三勝二敗で大鵬は通算二度目、大関になって初の優勝をとげました。

しかし横綱をかけた今場所といわれながらも、十二日に開かれた番付編成会議では昇進が見送られ、来場所の成績を待つことになりました。

日本群像

長野

伊那谷を悪夢のような豪雨が襲つてから一週間。中でも最大の被害地は長野県大鹿村です。

この村の大河原部落は百四十メートルの山が崩れおちて、部落の半分が土砂の中に埋没しました。生き残った人々は水難者を火葬し、家屋の残骸を焼き払つて跡始末するなど、ようやく活動をはじめたものの将来の再建への目度はまったくたてようもなく、深刻な表情です。

大河原部落から十五キロ奥の北川部落は四十数戸のうち残った家屋はたった二戸という驚くべき被害をうけました。道という道は全く断たれ、孤立状態をつづける「死の谷」へヘリコプターで報道班として始めて現地入りし、水害の受難地帯「伊那の山村」の悲劇のもとを紹介します。